

なんこく 市議会だより

No. 104

令和5年(2023年) 2月号



主 な 内 容

《12月定例市議会》……………P2～4

概要、副議長選挙、市政報告、
主な可決議案

《各委員会委員の決定》……………P5

常任委員会・議会運営委員会

《一般質問》……………P6～13

《議決結果一覧》……………P14～15

《なんこく歳時季 巻19》………P16

・国分竹灯り憧憬の路

◆ 表紙写真 ◆

十市のハウスでは、ピンク・白・
紫・黄色と色とりどりで、香りの
あるデンドロビウム・キンギアナム
(洋蘭)が2月、3月の全国の市場
への出荷を待っています。

発行／南国市議会

E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会

南国市大堀甲2301

TEL 088-880-6570

FAX 088-864-3281



第428回

12月定例市議会

一般会計補正予算

7億7,802万5,000円の増額

新型コロナウイルス感染症対策、
物価高騰対策事業等の推進を図る

第428回定例市議会は、12月2日から15日までの14日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提案の議案24件、報告6件、意見書4件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書4件を可決しました。また、9月定例市議会から継続審査の令和3年度の決算議案10件を認定しました。



◆ 概要 ◆

12月定例会初日、岩松永治副議長から副議長辞職願が提出され、これを許可した後、副議長選挙が行われました。選挙の結果、西川潔議員と浜田憲雄議員の得票数が同数となり、くじの結果、西川潔議員が当選されました。続いて、9月定例会において継続審査となっていた令和3年度の決算議案10件について、所管の常任委員長よりいずれの議案も認定とする報告があり、採決において全議案を認定しました。

その後、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たな委員の選任を行いました。(5ページ参照)

委員選任後、市長より、市政報告(次ページ)及び今議会へ提出された議案の提案理由

が説明されました。

6日から9日までの4日間は、13名の議員が、市長や教育長、関係課長に対し、教育、防災、福祉などについて一般質問を行いました。

12日は提出議案への質疑を行った後、人事案件5件の採決を行い、いずれも同意し、その他の議案を所管の常任委員会へ付託しました。13日には総務、産業建設、教育民生の各常

任委員会付託議案の審査を行いました。

15日の閉会日には、各常任委員長から審査の結果についての報告があり、討論の後、採決に移り、全議案が原案のとおり可決となりました。

併せて、任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員の選挙を行い、各4名を選出しました。同日には、議員から4件の意見書が提出され、「世界平和統一家

庭連合との関係を断ち切り、被害防止及び救済を求める意見書」、「消費税インボイス制度実施の延期を求める意見書」、「子供のために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書」、「介護保険制度の改善を求める意見書」の4件を全会一致で可決し、閉会しました。

(議決結果一覧は14・15ページ参照)

◆ 副議長選挙 ◆

— 新副議長に西川潔議員 —



西川 潔 副議長

■ 副議長選挙結果

当選人 西川 潔 (10票)
浜田憲雄 (10票)

※得票数が同数につき、公職選挙法の規定を準用して、くじで決定

◆ 西川潔副議長挨拶 ◆

コロナ禍も依然収まらない中、様々な不測の事態がこれからも考えられますが、安定した議会運営のために、議長を補佐する立場でしっかりやっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

◆ 市政報告 ◆



10月28日に物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策が閣議決定され、岸田首相は、財政支出39兆円、事業規模で72兆円の経済対策を行うと述べました。特に重点を置いたのは、エネルギー価格対策で、家庭の電気代について、今後想定される平均的な料金引上げ額約2割分を国に負担し、現在のガソリン価格の引下げを来

年も継続すること、標準的な世帯で来年前半に総額4万5000円の負担軽減を行うものです。このほか、継続的な賃上げや子育て世帯の支援等に取り組みとしており、本市においても、こうした国の政策に合わせ、物価高騰に対する生活支援等を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症については、国は感染者の発生届が医療機関や保健所の負担になっているとして、全国一律に全数把握の簡略化を示し、県では9月26日から対象を高齢者など重症化リスクの高い方に絞り込みました。しかし、全国的に感染は再拡大しており、過去2年間は年末年始に感染が広がっていることや、季節性インフルエンザの同時流行も懸念されていることから、引き続き、基本的な感染予防対策の

啓発等に取り組んでまいります。

ワクチン接種については、10月1日からオミクロン株対応ワクチンによる接種を開始し、保育・学校関係のエッセンシャルワーカーに對して優先的に接種を行いました。10月中旬には3回目接種を終了している12歳以上の対象者に4回目の接種券を発送し、10月下旬には3、4回目接種券を発行済みの方のうち、まだ受けられていない約8700名に、オミクロン株対応ワクチンの接種開始及び接種の勧奨案内を発送しました。10月21日以降は、接種間隔が3か月に短縮されたことから、6月末から9月末にかけて4回目接種を終了した方に対し、10月末から順次接種券を発送して、希望する方が年内に接種できるよう体制を整えております。

◆ 主な可決議案 ◆

議案第1号

一般会計補正予算

補正予算の規模は、7億7802万5000円の増額計上。主な歳出は次のとおりです。
▽総務費関係／ふるさと寄附金事業費、国・県支出金返還金
▽民生費関係／公立保育所費
▽衛生費関係／保健衛生予防費
▽土木費関係／道路更新防災等対策事業費
▽消防費関係／消防施設費
▽教育費関係／大篠小学校トイレ洋式化工事等に係る小学校管理費

議案第11号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の給与に関する法律の改正に

基づく国家公務員の給与改定に準じて、本条例の一部を改正するものです。

議案第12号

市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

議案第13号

市長等に対する給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の勤勉手当の年間の上限額を引き上げることに伴い、市議会議員、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるため、本条例の一部を改正するものです。

議案第14号

会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員以外の一般職の職員の給料表の改定に準じた給料表の改定等を行うた

め、本条例の一部を改正するものです。

議案第16号

督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例

納税者等の利便性の向上及び事務の効率化を図るため、督促手数料を廃止することから、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第17号

個人情報保護の保護に関する法律施行条例

個人情報保護の保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日以降、民間事業者、国の行政機関、独立行政法人等及び地方公共団体における個人情報保護制度が一元化されることから、現行の個人情報保護条例を廃止し、新たに本条例を制定するものです。

常任委員会(総務、産業建設、教育民生)、議会運営委員会の 新しい委員が決まりました (◎…委員長、○…副委員長)

総務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、
危機管理、消防、他の常任委員
会の所管に属さない事項
【任期1年、7名】



◎西本良平
無所属
(成合)



○中山研心
立憲民主党
(元町)



丁野美香
無所属
(緑ヶ丘)



村田敦子
日本共産党
(東崎)



野村新作
無所属
(篠原)



浜田和子
公明党
(大桶甲)



土居篤男
日本共産党
(十市)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、
都市整備、商工観光、上下水道
に関する事項
【任期1年、7名】



◎福田佐和子
日本共産党
(大桶甲)



○西山明彦
無所属
(大桶甲)



神崎隆代
公明党
(日吉町)



浜田憲雄
無所属
(浜改田)



岩松永治
無所属
(久礼田)



有沢芳郎
無所属
(田村)



前田学浩
無所属
(稲生)

◇ 議会運営委員会 【任期1年、10名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・
委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮
問に関する事項及び議案・陳情等を審査。

◎委員長／前田学浩

○副委員長／今西忠良

委員／西山明彦、神崎隆代、植田豊、
斉藤喜美子、岩松永治、村田敦子、
岡崎純男、土居篤男



教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、民生、
環境に関する事項
【任期1年、7名】



◎杉本 理
日本共産党
(片山)



○植田 豊
無所属
(岡豊町)



斉藤喜美子
無所属
(白木谷)



西川 潔
無所属
(岡豊町)



土居恒夫
無所属
(十市)



岡崎純男
無所属
(福船)



今西忠良
社民党
(久礼田)

執行部に問う

一 般 質 問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
御覧になれます

12月議会では、教育・防災・福祉など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◆12月議会で行われた主な質問項目◆ (質問順)

1 西本良平①これからの中山間地域対策について(現状認識と県の集落実態調査結果、本市の調査結果と対策の方向は、体制の改革、飲料水供給施設の維持管理、道の駅を核とした新たな事業の提言)②肥料・飼料等の高騰対策について

2 西山明彦①市長の政治姿勢(令和5年度予算編成、南国市の財政)②高齢者支援(子育て支援と比べて、高齢者の負担軽減)③検討課題のその後(防犯灯の設置、給食費の軽減、交通ネットワーク)

3 福田佐和子①平和行政②高齢者の暮らし(交通、市営住宅、補聴器助成、生活道、小のごみ袋)③保険証廃止④公的施設の進捗状況と利用状況⑤旧統一協会について

4 今西忠良①南国市地域包括支援センター②介護予防普及啓発事業③民生児童委員④公的国民皆保険制度(これから日本の社会保障はどう変わるのか)⑤健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの移行

5 植田豊①AEDの屋外設置②公共施設のWiFi環境③緊急車両のタイヤ④疑似体験VR(仮想現実)映像の利用⑤臨時災害放送局

6 前田学浩①教育行政(コミュニティスクールと地域学校協働本部、中学校給食、小中学校の再編に伴う校区変更)②選挙(投票率向上、選挙ポスター掲示板場所、期日前投票所)

7 土居恒夫①防災に強いまちづくりについて②南国市文化芸術振興条例制定を③教職員の働き方改革について④気になる課題(うーたんと道路拡張の協議を、投票所廃止対策、エンコウ祭り記録の刊行は)

8 杉本理①学校給食の無料化を②子どもの医療費無料化を③防災(津波避難タワー)について④青年・学生に引き続き支援を

9 村田敦子①マイナ保険証は中止を②介護保険改悪(保険料徴収増、給付削減を目指す施策はやめよ)③ヤングケアラーの広報とともに支援システムも確立を④物価高騰対策はタイムリーに

10 丁野美香①ヤングケアラーについて②コミュニティバスについて

11 神崎隆代①防災・減災への取組(防災広場、事前復興まちづくり計画、家族防災会議の日制定)②都市計画(シンボルロード、産業団地、企業誘致と農業)③子育て支援(出産・子育て応援交付金事業等)

12 土居篤男①市の人口を増やす目標を持つこと②農業政策について(ロシアのウクライナ侵攻による燃油高騰、小麦輸入減による小麦価格高騰対策)

13 斉藤喜美子①南国市の子育てと教育(高知市のあったか学級づくりアドバイザー派遣事業、学校連絡アプリについて、学校給食と子供の未来、産後ケア事業)②ペット防災(南国市の現状と今後の取組)

福田佐和子 議員



マイナンバーカード
で保険証廃止

問 市の取得率は。

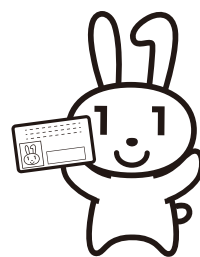
答 令和4年11月末現在の交付率で44・2%となっている。

問 カードを持たない市民は受診できない。国の「例外を認めず交付金を減らす」は国家の統制であり、昔見た光景との声も。国に対してマイナンバーカードの強制と保険証の廃止の中止を求める要求をすべきでは。

答 10月13日の河野大臣発言は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化について、現行の被保険者証の例外的な使用を認めないなどの原則廃止よりも踏み込んだ内容となっている。

いる。しかし、現時点において国や県からの具体的な提示の通知がないので、市のスケジュール等については未定となっている。

デジタル化を進めるという国の方針について、マイナンバーカードは大きな意義を持つということは確かだ。効率的で便利な世の中を目指すということを進める中では、この流れは必然であろうし、この取組は、今後も行政としては進めていかねばならないと思う。それを強制することについてはどうかということはあるかと思うが、この流れは今後とも国策として進めているところで、行政としてはやはりマイナンバーの普及を進めることはやっていく必要があると思っている。



旧統一協会被害者に
会い実状を

問 市内男性が顔も名前も出して被害者救済を訴えている。知事は県議2人とともに面会予定。市長も市民である男性に直接会って実状を聞き、できる支援をするべきではないか。

答 名前を出して、そういったことが起こったという過去のその方の身の上を報道で聞いたことが全てだが、それについて直接面会し、お話を伺うことはできる。

※日本共産党は「旧統一教会」を「旧統一協会」と表記しています。

今西忠良 議員



地域包括支援センター
の基幹業務

問 介護保険制度の持続可能性を維持しながら、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、有する能力に応じた自立した日常生活の営みを可能としていくためには、十分な介護サービスの確保が第一だ。地域包括支援センターの基幹業務を問う。

答 4つの基幹業務があり、介護予防ケアマネジメント業務では、要支援者等に対して介護予防給付や日常生活支援を目的として、その方の心身の状況、環境、その他の状況に応じて適切なサービスが提供されるよう、必要な援助を行っている。

問 今日、個人や世帯を取り巻く環境が大きく変化する中であって、将来への不安や様々な生活課題を抱える人々が増加している。その中で民生児童委員の方々は、地域住民の立場で必要な援助や取組を行っている。委員の任務を問う。

総合相談支援業務は、何でも相談、様々な相談を適切な機関や適切な制度利用につなぐなどの支援を行っている。権利擁護業務では、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応などを行っている。同じ社会福祉協議会のフロアにできた権利擁護センターや、市役所3階にある消費生活センターと連携しながら、高齢者への支援を行っている。

包括的継続的ケアマネジメント支援業務では、民間のケアマネジャーへの個別の支援、連絡会の開催などを実施している。これまでに介護保険制度の中で幾度か制度改正があったが、地域包括ケアシステムの実現と併せて、多数の職種を複数名配置するなど、相談体制の強化を図ってきた。

民生委員の任務

問 今日、個人や世帯を取り巻く環境が大きく変化する中であって、将来への不安や様々な生活課題を抱える人々が増加している。その中で民生児童委員の方々は、地域住民の立場で必要な援助や取組を行っている。委員の任務を問う。

答 民生児童委員の方々には、住民に一番近い立場で地域住民の立場に立って、必要な援助、取組を行っていただいている。また、災害に備えた地域での体制づくりとして、地域ぐるみの災害対策、要配慮者支援など、多大な御協力をいただいている。委員1人が担当する世帯数は、平均約170世帯で、地元の様々な問題に対し、相談、関係機関へのつながり等のほか、地区によっては地元の様々な活動に加わっている。

植田 豊議員



公共施設WiiFi環境の充実

問 市内全域にWiiFi環境を整えることで、より質の高い行政サービスも可能となりデジタル難民の回避につながるかと考える。公共施設のWiiFi環境を市内全域により早く広げることを求める。

答 市内の公共施設では、スポーツセンターと、地域交流センターMIARE!、稲生公民館、海洋堂Space Factoryなどに、来場者が利用可能なWiiFi環境を整備している。

本市DX計画における行政手続のオンライン化の推進やコロナ禍におけるオンライン会

議の増加に対応するためには、来庁者への窓口での利用説明時や、業務に利用できるWiiFi環境の早期整備は必要である。保健福祉センター、消防本部、上下水道局については、配線工事が必要な場合があり、業務利用も含めたWiiFi環境の整備に向けて、担当課と調整を行いながら進めている。市役所本庁舎については、一部エリアを除きインターネット環境を整備している。

利用するなどして、できるだけ早期に整備できるように確認を進めている。また、実施予定のSUNSUNなおかの非構造部材耐震化工事に合わせてWiiFi環境が整うように準備していきたい。WiiFi環境については、市民活動が活発な地区から優先的に整備するよう計画してお

り、館長へのWiiFiの設置に関するアンケート結果も踏まえた調整を進めている。

臨時災害放送局のレンタル

問 大規模災害発生時において、きめ細かな情報発信の手段として最も有用なのは「臨時災害放送局」だと考える。総務省四国総合通信局の「レンタル臨時災害放送局」があり、訓練時にも設置し、利用することを求める。

答 臨時災害放送局は、事前に機材を整備して管理することや、放送員が取得することが難しいが、訓練においても機材貸出しができるという情報をいただいたので、今後本市の災害対策本部訓練において、定期的に使用訓練を実施できるよう努めていく。

前田学浩議員



再編で校区変更を

問 南国市の教育を考える会の答申を受けて、教育委員会では、具体的に再編の検討に入っているが、急速に児童の増えている大篠小学校について校区の変更を想定しているか。東部を日章小学校に、南部を三和・稲生の再編小学校に組み込むような変更が必要と思われる。

答 大篠小学校では、毎年一定数が隣接校制度を利用して校区が隣接する小学校へ入学している状況だが、1クラス当たりの児童数の見直しなどがあり、学級数が増加している。このため、学校再編を実施する場合には、既

存の校区の見直しも含めた検討が必要だと考えている。今後は、保護者、地域の方々からの御意見を聞きながら進めていく。

給食の食べ残し

問 中学校給食の食べ残しが年間22トンと聞いた。かつての食育のまちとして、小学校での食育の魂が中学校で途切れているのが寂しい限りである。総合教育会議等で議論しているか。給食時間が短いのも問題である。食べ残しの改善を求める。

答 教育委員会や昨年度から設置している学校給食アドバイザー会議で、教育委員や学校給食アドバイザーの方々に現状報告し、御意見をいただいている。時間の短さについては、配膳を速やかに行うことで、食べる時間を確保することは可能ではないかと思う。香

長中学校では、5月上旬まで、1年生は配膳に時間がかかり、予定時間を過ぎて食べ始めていたが、配膳の手順を再確認し、食べ始める時間を意識して配膳を行うようにしてからは、給食を食べ始める時間が予定どおりとなり、食べ始めが10分早くなったとドリームトークで生徒会から報告があった。

また、中学生の給食に関するアンケートでは、嫌いな食べ物が出た場合でも頑張って食べると答えた生徒は64%にも上り、栄養教諭などによる給食指導を充実させることで一定改善ができるのではないかと考えているので、これまでの取組を引き続き着実に進めていきたい。

土居恒夫 議員



南国市文化芸術振興
条例の制定を

問 地域交流センター
M I A R E ! では、現
行の市展開催はできな
い。また、個展やグル
ープ展の発表の場とし
ては不向き。対策はあ
るか。

答 同施設については、
国費も投入しているの
で、これから施設の増
改築を行うことは現実
的ではない。今ある施
設を利用し、アイデア
を出し合って、どうす
れば使いやすいものにな
るかを共に考え、少
しでも使いやすいもの
にしていきたい。

ないか。

答 市内の文化芸術活
動についての実態把握、
施設の建設を終えた後
に条例制定をする考え
で、今後、新図書館の
建設に入るので、文化
や芸術活動の拠点とな
る施設の整備後に検討
していきたい。

気になる課題について

問 篠原稲吉線の道路
拡張に係る特定非営利
法人うーたんと協議
内容を問う。

答 うーたんからの相
談内容には、建物本体
は道路にかかってない
が、建物北側の駐車ス
ペースがなくなる旨等
を伝えている。本年は
大篠小学校南の建物の
補償算定を行うことや、
補償交渉も建物が道路
にかかっている方を優
先に行い、うーたんは
一番最後にお伺いする
ことの了承もいただい
ていたが、不安を与え
る結果となり反省する

ところだ。うーたんへ
の補償の説明に早々に
伺いたい。

問 十市第12投票所の
廃止による対策につ
いて問う。

答 投票区域内の全世
帯主に、投票所変更につ
いてアンケート調査
を実施し、第11投票所
の十市小学校体育館へ
の変更について一定受
け入れられると判断し
た。この結果は全世帯
に回答する予定で、次
の選挙から投票所を変
更することとしている。

問 国記録選択無形民
俗文化財エンコウ祭り
の記録刊行は。

答 全ての調査を行い、
平成29年度から報告書
の執筆に着手している。
本年度原稿が上がった
ので、来年度には印刷
製本を行い、調査の御
協力をいただいた地元
にもお返ししたい。

杉本 理 議員



学校給食の無料化を

問 日本国憲法では、
義務教育は無償とされ
ている。今年度3学期
の小中学校給食費無償
化を来年度も実施すべ
きだ。その費用を問う。

答 給食費を無償化す
るには、小学校の児童
分が1億1500万円、
中学校の生徒分が55
00万円必要となる。

問 食料価格高騰に対
する保護者負担軽減策
を取っているか聞く。
また、来年度以降の対
応を問う。

答 学校給食で提供す
る牛乳の価格が約3円
上昇し、その分につい
ては、新型コロナウイルス
を活用し、保護者に
負担増を求めている。

国の今年度二次補正
の中には新型コロナウイルス感
染症及び原油
価格・物価高騰対策予
備費もあり、来年度も
同様の対応が可能かど
うか検討しながら進め
ていく。

防災（津波避難タ
ワー）について

問 スポーツセンタ
ーに掲示した啓発
パネルを他のタワ
ーに設置してはどうか。

答 ほかのタワーも、
誰もが自由に訪れるこ
とができるので、パネ
ル展示など啓発に関す
る取組を検討していく。

問 十市の住民からの
タワー設置要望書の内
容と見解を聞く。

答 タワー建設要望に
ついては、高台への避
難場所を整備している
地域から提出され、内
容は、当該避難場所を
含むエリアが県から土
砂災害特別警戒区域に
指定されたことを受け、

地震と大雨等が重なっ
た場合の複合災害を懸
念し、新たな避難場所
としてタワー整備を求
めるものである。

本市の津波避難場所
整備は完了しているが、
土砂災害に関する新た
なエリア指定など、命
山構想策定時にはな
かったリスクが判明して
いるため、現在、複合
災害対策について南国
市国土強靱化地域計画
の中で検討している。

問 片山・里改田地域
の避難について、市の
考え方を聞く。

答 本市の津波浸水想
定区域は、想定される
津波到達時間などから
十分に避難できる範囲
に避難場所や避難施設
を整備し、浸水想定エ
リア外へ避難すること
が可能となっている。
地域からの要望があれ
ば、よりスムーズな避
難について協議を行っ
ていきたい。

村田敦子 議員



マイナ保険証ノ一

問 番号法17条1項は本人の申請によつてのみカードを交付。勝手に国民一人一人に番号

付けをし、ポイントのアメをばらまきも普及率はまだ5割。国民皆保険制度の下で、保険証を廃止すると国民の不安をあり、持たざるを得なくしようとムチでしばく。市も加担か。

答 マイナンバーカードは、行政手続のオンライン化に必要不可欠なものであり、DXを推進する上でも必須のものだ。本市においても、8月から12月までを普及促進期間として全庁的な取組を実施している。

今回発表のマイナ保険証については、まず保険証の廃止の時期を決め、走りながら進める見切り発車のようなものの記事を目にしたが、市民の方々には、混乱が生じることなく理解してもらえらるよう実施していきたい。

問 12月号広報で周知した緊急支援給付金は10月に先決予算計上。高知市は既に対象者に届けられた。本市は。

答 12月1日から給付金申請の受付を開始し、申請期限は令和5年1月末となっている。

問 今回のプレミアム商品券は、事前に全戸に購入引換券が届き公平。これから早い者勝ちでない施策を。

つ、それらに対応する財源がある場合には、市民や事業者など、幅広い方が支援の対象となる仕組みによるプレミアム付商品券事業も検討していきたい。

問 賃金の底上げや消費税減税が、市の増収につながるのでは。

答 消費税減税による消費拡大で経済効果を出すといった議論もあり、そういう意見の方もいるとは思いますが、地方消費税の増税部分は、毎年上がっている社会保障費の財源であり、市でも大切な収入の地方消費税交付金として約6億2000万円が入ってきている。同時に、市町村の重要な財源である地方交付税の財源にも消費税が一定割合でなっており、その代替財源確保も必要なので、そこは慎重な議論をしていただかなければならない。

丁野美香 議員



ヤングケアラー

問 南国市のヤングケアラーの現状はどうなのかを問う。

答 把握しているほとんどのケースは、小学生や保育園児が多いため、年下の兄弟の世話をしている形である。

問 来年度、こども家庭庁も発足するが、国や県との連携した支援などはあるのかを問う。

答 県は現在ヤングケアラーコーディネーターを1名配置している。福祉、介護、医療、教育等といった各分野において、ヤングケアラーを早期に見出し、適切な支援につなげることができるよう、市町村におけるヤングケアラーの支援体制の構築

を支援することを目的としている。

問 ヤングケアラーの人たちへの支援として、今後、SNSの活用と取組を進めていくことを求める。

答 国のヤングケアラー支援体制構築モデル事業の中には、ピアサポート等の悩み相談を行う支援者団体への支援や、ヤングケアラー同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンの設置運営というメニューもある。オンラインを利用しているサロンであり、また悩み相談等についても、最近では直接面会ではなく、SNSの利用についても一般的になってきているので、利用可能かどうかも含めて検討し、県内の情報収集に努める。

コミュニティバス

問 コミュニティバスの路線にある量販店や商業施設へと、乗り

入れ可能な停留所はできないのかを問う。

答 敷地内に安全な運行が可能となる十分な広さを確保する必要がある、路線全体の運行経路やダイヤにも大きく影響することから、現時点では対応することとは難しい。

問 運転免許証返納者や高齢者、障害者の方にとつてドアからドアへの距離がとても大切だ。市役所玄関前にバス停を、そしてロータリー設置を検討できないか問う。

答 市役所敷地内への停留所の設置、乗り入れ、ロータリー等の設置については、十分なスペースがなく、安全を確保することは難しい。路線再編時には、都市計画道路高知南国線を使用し、近くに停留所を設置することでアクセスを確保したいと考えている。

神崎隆代 議員



防災・減災への取組

問 本市の事前復興まちづくり計画を進めるための体制を問う。

答 各課の協力を得て連携してやっているが、事業が多岐にわたり、マンパワー不足で、あまり進んでない状況だ。

今後、令和5年度に庁内の横断的な体制をつくり、事前復興まちづくり計画策定に向けた勉強会の実施、また基礎データの整理などの事前準備を行った上で、令和6年度に改めて体制を整え、計画策定に着手する予定としている。

問 防災・減災の対策はまず家族から。いざというときの行動や備えをすることを啓発す

るために「家族防災会議の日」の制定を求める。

答 住民や家庭での着実な備えや、家庭での意識向上のきっかけとなるものと考えられ、早急にとのような日に設定するのがふさわしいか検討し、現在改定中の南国市地域防災計画に位置づけ、家庭での防災対策を後押ししたいと考えている。

都市計画

問 日章産業団地完売後の構想として、次の計画を問う。

答 現在、新たな産業団地の候補地となり得る場所を選定する委託業務を行っている。

問 行政主導の開発は時間がかかる。民間の開発がしやすくなる環境づくりが必要ではないか。

答 行政が整備する団地は整備後に公募することから、企業によっ

ては分譲面積と求めている面積の差など、ニーズとのずれが生じることがある。民間開発ならば企業のニーズを基に開発が行われることもあり、また開発事業者も複数存在することから、市への企業立地を推進していくためには民間開発は重要な要素だと思っている。

問 都市計画マスタープランの企業立地に関する位置づけについて「検討します」では弱い。誰にも伝わる明確な表現へ早期に変更を。

答 本市の土地利用方針や考え方が十分に伝わっていないということであれば、本市都市計画マスタープランの変更や、見直しの際には本市の方針や思いが誰にも伝わるような表示、表現にできるだけ早く変更していきたいと考える。

土居篤男 議員



市の人口を増やすことを求める

問 市の人口が5万人から減少している。人口減少に歯止めをかけ、人口増を図ることを求める。

答 市市街化区域で活用されていない土地が宅地開発等がされており、住宅の建設が進んでいるところだ。そういった市街化区域の土地の利用が大きく進めば、その後の市街化区域の新たな設定ということも考えられる。具体的には、土地区画整理事業で篠原の区画整理が進んでおり、そこらには住宅の建設が見込めるのではないかと考える。

人口増加のため、で

きる限り移住促進も図りながら取り組んでいきたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定には、各課横断的に施策を出して、どのように人口を増やすのかという目標を達成するため

の施策を展開しているところで、そういった意味では目標としては各課が同じ思いで取り組んでいると思う。各課の施策をそれぞれ実現していくことが人口減少を食い止めることにつながっていくと考えている。

ロシアのウクライナ侵攻の影響

問 ロシアのウクライナ侵攻により燃油及び肥料や小麦の価格が上昇している。ハウス園芸農家の経営を守るため、肥料及び燃油価格の高騰から農業を守るための施策を求める。

答 肥料高騰に対して

は、JAと近隣の香南市、香美市とも連携して協議を続け、前年から増加した肥料費の7割を支援する国の肥料高騰対策に、県から価格上昇分の1割が上乗せの形で支援されることになったので、県と同じ額を市からも支援し、農業生産を継続する意欲喚起となるよう進めていきたいと考える。

燃料の高騰への対策については、国のセーフティーネットという施策が講じられているが、そちらへの継ぎ足し支援という形で取り組んでいるところだ。今後、燃料価格・肥料価格の状況を国の施策とともに注視していきたい。

齊藤喜美子 議員



産後ケア事業

問 少子化の原因の一つに経済面のほかにも2人目以降を生み育てたい環境が整っていないのではと考える。国の産後ケア事業と市の取組について聞く。

答 厚生労働省は産前・産後サポート事業ガイドライン及び産後ケア事業ガイドラインを公表し、市町村に実施の努力義務を規定した。市では、高知県助産師会に訪問型を、J A高知病院、アニタ助産院に宿泊型の事業を委託して実施している。保健福祉センターでは様々な支援を行っており、また、今年度から出産・子育て応援交付金事業を開始する予定だ。保健師等による面接を行い、妊娠・出生届出時に5万円ずつを給付し、経済的支援を行いながら、子育ての相談に応じる体制を整え、安心して本市で2人目以降を産み育てたいという環境を整えていきたい。

問 産後1年未満の母親の育児困難の現状について、市長の感想と意見を聞く。

答 0歳児の虐待の加害者は母親が多いというところ、出産後1年未満に死亡した女性の中で自殺が最も多かったことなど、産後1年間のうちに育児の困難を抱える母親が多いことに本当に心が痛むところだ。少しでも子育ての負担感を軽減するために、気軽に相談でき、頼ることができる体制づくりを推進し、行政としてしっかりサポートできるように取り組んでいきたいと考える。

ペット防災

問 市は昨年ペット防災に関するリーフレットを作成したが、その後の取組について問う。

答 リーフレットを活用した取組はできていない現状だ。

問 東日本大震災以降の災害発生時にも避難所などで準備不足からトラブルがあった。日頃から防災会等で勉強会や飼い主向けマナー教室をしてはどうか。

答 ペットとの同行・同伴避難については、まだまだ社会全体の意識が同じ方向を向いておらず、これから乗り越えなければならぬ課題が多くある。飼い主に対してのマナーアップ教室などを含め、どのような取組が必要であるか、関係機関の協力も仰ぎながら検討していきたい。

◆ 総務大臣感謝状 ◆



10月24日、総務大臣より、市議会議員として長年の功労が認められ、本市議会からも、次の議員に感謝状が贈られました。

《感謝状》

◇議員35年以上

今西 忠良議員
福田佐和子議員

行政視察受入状況

【令和4年5月～12月】

自治体名・人数
(会派名等／視察内容)



- 5月20日 神奈川県秦野市・3名
(自民党・新政クラブ／食育・地産地消)
- 7月13日 北海道名寄市・7名
(市民福祉常任委員会／包括支援センターの取組)
- 8月10日 群馬県前橋市・12名
(前橋令明／次世代型施設園芸農業)
- 10月6日 福島県田村市・5名
(至誠会、無会派／防災)
- 10月24日 埼玉県羽生市・3名
(拓政会、日本共産党／地産地消)
- 11月9日 兵庫県姫路市・8名
(自由民主党／防災)
- 11月21日 秋田県大仙市・11名
(総務企画常任委員会／移住定住促進)

議 決 結 果 一 覧 (12月定例会)

《令和 3 年度決算》 (9 月議会継続審査分)

1 号・一般会計歳入歳出決算	全会一致で認定
2 号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
3 号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
4 号・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
5 号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
6 号・介護保険特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
7 号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
8 号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定
9 号・水道事業会計決算の認定について	全会一致で認定
10号・下水道事業会計決算の認定について	全会一致で認定

《令和 4 年度補正予算》

1 号・一般会計補正予算	全会一致で可決
2 号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	全会一致で可決
3 号・農業集落排水事業特別会計補正予算	全会一致で可決
4 号・国民健康保険特別会計補正予算	全会一致で可決
5 号・介護保険特別会計補正予算	全会一致で可決
6 号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算	全会一致で可決
7 号・水道事業会計補正予算 (第 1 号)	全会一致で可決
8 号・下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	全会一致で可決

《その他》

9 号・道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
10号・市立スポーツ施設条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
11号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
12号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
13号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
14号・会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
15号・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	全会一致で可決
16号・督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	全会一致で可決
17号・個人情報の保護に関する法律施行条例	全会一致で可決
18号・市道の認定について	全会一致で可決
19号・訴えの提起について	全会一致で可決
20号・教育委員会委員の任命の同意について	全会一致で同意
21号・監査委員の選任の同意について	全会一致で同意
22号～24号・人権擁護委員の推薦について	全会一致で同意

議 決 結 果 一 覧 (12月定例会)

◆報 告

- 1号・一般会計補正予算の専決処分の承認について……………承 認
2号・損害賠償の専決処分の報告について……………報 告
3号・スポーツセンター津波避難施設建設工事（建築主体）請負契約金額変更に係る
専決処分の報告について……………報 告
4号・スポーツセンター津波避難施設建設工事（建築主体）請負契約金額変更に係る
専決処分の報告について……………報 告
5号・市営住宅家賃等支払請求に関する和解の専決処分の報告について……………報 告
6号・市営住宅明渡等請求に関する和解の専決処分の報告について……………報 告

◆議員提出議案

- 1号・世界平和統一家庭連合との関係を断ち切り、被害防止及び救済を求める意見書
……………全会一致で可決
2号・消費税インボイス制度実施の延期を求める意見書……………全会一致で可決
3号・子供のために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書……………全会一致で可決
4号・介護保険制度の改善を求める意見書……………全会一致で可決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名 議案番号	杉本 理	丁野 美香	西山 明彦	神崎 隆代	植田 豊	西本 良平	浜田 憲雄	齊藤喜美子	岩松 永治	西川 潔	土居 恒夫	有沢 芳郎	中山 研心	前田 学浩	村田 敦子	岡崎 純男	野村 新作	浜田 和子	土居 篤男	福田佐和子	今西 忠良	結果
議案12号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	-	×	×	○	可決
議案13号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	-	×	×	○	可決

12 月	11 月	10 月	議 会 日 誌
15日・議会運営委員会 ・議会だより編集委員会 21日・議会運営委員会 28日・第428回市議会定例会	28日・西島園芸団地調査特別委員会 18日・市政連絡会 17日・全国市議会議長会地方財政委員会 (東京都) 要請活動(東京都) 16日・産業建設常任委員会 17日・国営緊急農地再編整備事業 1日・中学校給食試食会 2日・産業建設常任委員会	31日・市政連絡会 26日・全国民間空港所在都市議会協議会 臨時総会(稚内市) 20日・スポーツセンタータワー視察 (高知市) 19日・総務常任委員会 14日・教育民生常任委員会 11日・議会だより編集委員会 7日・全国高速自動車道市議会協議会 理事会(東京都) 6日・市政連絡会 3日・全国市議会議長会	



【国分竹灯り憧憬の路】

南国市の冬の風物詩の一つにもなっている「国分竹灯り憧憬の路」が、今年度も12月3、4日の2日間、国分地区で開催されました。

第9回を迎えた今回のテーマは、「百華百彩 竹灯りの小路・夜の万華鏡」。大小約2000本の孟宗竹、4000個のろうそく・LEDが使用され、竹の表面に大小の穴を開けてデザインされた竹灯籠や土佐和紙を使ったあんどんなどで、会場となった民家の庭先や駐車場、空き地などが彩られました。

会場には、家族連れやお年寄りも多く訪れ、竹灯りの醸し出す幻想的な景色に、あちらこちらから感嘆の声やため息が聞かれました。

なんこく歳時季

巻

19



編集後記

昔から、立春を迎える二月の節分は大切な時期とされてきました。二十四節季のうちでも春の訪れを告げるこの時期は旧暦での一月にあたり、新しい年の始まりとされていたそうです。

最近では高知でも恵方巻きを食べることなども楽しい行事になって来っていますが、形骸的なものにならず、新しい春や歳の節目に感謝を持つて接する行事となってくれたら、フードロスなどの問題も起きにくいのではないかな、とも感じています。

毎日忙しくて立ち止まりにくい時期だからこそ、改めて日常を感謝で感じることができたと思います。

(斉藤)

◎市議会だより編集委員会

委員長	西山明彦
副委員長	土居恒夫
委員	杉本理
〃	神崎隆代
〃	斉藤喜美子
〃	中山研心

●12月定例会市議会の会議録は、2月末以降に市ホームページ (<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。

●次回の定例会市議会は3月3日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。